



研究用試薬

**ヒストファイン**

第一抗体  
抗ケラチン/サイトケラチン5/6モノクローナル抗体(AT用)  
(動物種：マウス)

包装： 50 テスト (6.5mL)      Code： AT1808-1

製造販売元

**株式会社ニチレイバイオサイエンス**

〒104-8402  
東京都中央区築地 6-19-20  
TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

- 本品は、自動染色装置ヒストステイナーAT用の試薬 第一抗体である。
- 特異性および抗原分布**：ヒト組織中のタイプII(塩基性)に属するヒトケラチン5(58kDa)およびヒトケラチン6(56kDa)と特異的に反応する。ケラチンは、分子量(MW)によって低分子/高分子に、等電点(pI)によって、タイプI(酸性)、タイプII(塩基性～中性)に分類される細胞質タンパク質である。ヒトケラチン5は、中皮細胞、重層上皮細胞、移行上皮細胞などで発現しており、中皮以外の単層上皮細胞、腺上皮細胞やほとんどの非上皮細胞で発現していない。また、ヒトケラチン6は、増殖期の扁平上皮細胞で発現している。腫瘍では、悪性中皮腫<sup>※(2)</sup>、扁平上皮癌に反応がみられ、腺癌とは反応しないことから、上皮型悪性中皮腫と肺腺癌<sup>(3)(4)(6)</sup>、低分化型扁平上皮癌と腺癌(肺、乳腺、大腸、前立腺、転移性他)<sup>(7)(10)(11)</sup>のように形態による判別が困難な場合に有用な指標となる。また、乳腺腫瘍<sup>(5)(9)(12)</sup>や前立腺腫瘍<sup>(8)</sup>では、悪性度合の指標としても有用である。

※：上皮型や腺房様に分化した中皮腫では陽性率が高いが、肉腫型や混合型などでは陰性や弱陽性となることがある。

- クローン名：D5/16 B4
- 抗体のサブクラス：IgG1
- 免疫原：精製したサイトケラチン5
- 製法：腹水から得ている。

**1. 内容**

第一抗体・・・抗ケラチン/サイトケラチン5/6モノクローナル抗体(動物種：マウス)。  
液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1バイアル中に6.5mLを含む。

**2. 使用目的**

組織・細胞中のケラチン/サイトケラチン5/6抗原の染色。

**3. 使用方法**

パラフィン包埋切片の免疫組織化学染色および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

- 1) 他の試薬とともに試薬ラック(AT用)にセットし、染色を開始する。
- 2) 染色終了後、すみやかに2-8℃に保存する。

**4. 染色方法の設定**

試薬の反応温度、反応時間を下記に設定する。

《タイプ：HRP Heat》

プロトコル名	Dewax	TR	温度(℃)	ブロッキング	試薬名	第一抗体 反応時間(分)	第一抗体 反応温度(℃)
CK5/6-AT	Dewax2-AT	TRpH9-AT	101	Buffer	CK5/6-AT	20	25

**5. 貯法および使用上の注意**

1. 2-8℃保存。
2. 使用期限はラベルに記載されているので使用前に確認すること。
3. 使用後は速やかに冷蔵保存すること。
4. 異なるロットの試薬や他製品の試薬を混ぜたりしないこと。

## 6. 取扱上(危険防止)の注意

1. 使用期限の過ぎた試薬は使用しないこと。
2. 本製品に関する安全情報は安全データシートを参照すること。
3. 本品を吸い込んだり、眼、口、皮膚、衣類などへの接触を避けること。
4. 本製品の廃棄の際には、各施設や地域および国のルールに従い、適切に廃棄すること。
5. 本品は、動物由来成分を含むので、取扱に注意が必要である。
6. 本品にはアジ化ナトリウムが含まれている。アジ化ナトリウムは水道管に含まれる銅、鉛との反応によって爆発の危険性があるので、多量の水とともに洗い流すこと。
7. ヒト由来の検体は、感染の恐れがあるので適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

## 7. 主要文献

- (1) Roland M., et al : Cell 31 : 11-24, 1982
- (2) Clover J., et al : Histopathology 31 : 140-143, 1997
- (3) Ordóñez NG. : Am J Surg Pathol. 22 : 1203-1214, 1998
- (4) Ordóñez NG. : Am J Surg Pathol. 22 : 1215-1221, 1998
- (5) Otterbach F., et al : Histopathology 3793 : 232-240, 2000
- (6) Cury PM., et al : Mod Pathol. 13 : 107-112, 2000
- (7) Chu PG., et al : Mod Pathol. 15 : 6-10, 2002
- (8) Abarahams NA., et al : Am J Clin Pathol. 120 : 368-376, 2003
- (9) Lacroix-Triki M., et al : Virchows Arch. 442 : 548-554, 2003
- (10) Reis-Filho JS., et al : Virchows Arch. 443 : 122-132, 2003
- (11) Lin L., et al : J Cutan Pathol. 30 : 114-117, 2003
- (12) Joseph T.R., et al : Hum Pathol. 37 : 787-793, 2006

■ 研究用としてのみ使用すること。